

掲載しきれないイベントの写真などは、糸満市の「フェイスブック」「Instagram」「ライン」に掲載しています。



Instagram



フェイスブック



ライン



旬の話題をお届け!

とれたて



女性の地位向上と地域活性化を目的に 市長と女団協との意見交換

糸満市女性団体連絡協議会の活動を知ってもらい、地域の課題や市の取り組みなどに対して、お互いに意見を交換し合い、女性の地位向上と地域の活性化を図ることを目的に毎年開催している懇談会が2月25日(木)糸満市役所で開催されました。

懇談会の開催にあたり、金城文子糸満市女性団体連絡協議会会長は「コロナ禍のため、規模を縮小してはいるものの懇談会を開催できて嬉しく思います。懇談会を有意義なものにして、地域に還元できるようご協力お願いします」と話しました。

當銘市長は「日ごろから地域のためにご尽力いただきありがとうございます。懇談会の意見や提案を市政運営にも活かしていきたいのでどうぞよろしくお願いします」と話しました。

懇談会では、糸満市女性団体連絡協議会に所属する6団体の活動報告の後、新型コロナウイルス感染症予防対策や生活困窮者に対する支援など意見交換が行われました。



那覇法人会から小学校および社協へ マスク、消毒液などの寄贈

公益社団法人那覇法人会専務理事らが2月22日(月)に市役所を訪れ、市内小学校へマスク、アルコール消毒液の寄贈および社会福祉協議会へ寄付金の贈呈がありました。

那覇法人会を代表して銘苅専務理事は「社会貢献活動として例年実施している講演会などが、新型コロナウイルスの影響により中止となり、何かできないか考えた結果、管内の小学校にマスクおよびアルコールを贈呈することになりましたので、是非ご活用ください」と話しました。



医療法人水晶会安里眼科から 人材育成寄付金として200万円

医療法人水晶会安里眼科の理事長が2月10日(水)に市役所を訪れ、人材育成事業へ200万円の寄付をしました。

人材育成事業とは、奨学金の給付や貸与のほか、児童生徒の文化やスポーツでの県内外への派遣など、糸満市の人材育成に取り組む事業です。

安里良盛理事長は「昭和57年に糸満市兼城で開業して、来年は40年を迎えます。これからも人材育成に貢献できたらと考えているのでよろしくお願いします」と話しました。

全国社会福祉協議会会長表彰 糸満市社会福祉協議会が受賞

糸満市社会福祉協議会会長ら関係者が、令和2年度全国社会福祉協議会会長表彰の受賞報告のため2月8日(月)市役所を訪れ、糸満市長へ喜びを報告しました。糸満市社会福祉協議会は、他の社協の模範となる優秀な活動を行っており、その実績が認められ、今回の受賞につながりました。

糸満市社会福祉協議会の徳元会長は「この賞は、関連施設などみんなでいただいた賞だと思います。この受賞に恥じないように頑張りますのでこれからもご協力お願いします」と話しました。



毎年2月3日は「にんじんの日」 美らキャロットの寄贈

2月3日は「にんじんの日」です。糸満市では、毎年、農業戦略品目であるニンジン(美らキャロット)の普及、産地力強化および消費拡大や食育の啓発活動を目的に毎年「美らキャロット収穫祭」を開催していますが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響もあり、美らキャロットの贈呈式のみ開催されました。

JA沖縄糸満支店の新垣久志支店長は「喜屋武地域で開催される収穫祭をととして土に触れ、農業に親しみをを感じる機会だったので、中止になり寂しいです。糸満産の美らキャロットを食べて学校生活を有意義に過ごしてほしいです。」と話し、生産農家あいさつとして徳嶺義武さんは「収穫祭は開催できませんでしたが、来年こそは今年の分まで大きく開催したいのでご協力お願いします」と話しました。

糸満市農業戦略産地連絡協議会およびJAおきなわ糸満支店から合計265kgの美らキャロットが贈呈され、本日(2月3日)の学校給食(「マーボートウガン」、「キャロットサラダ」)で振る舞われました。



沖縄県母子保健大会 糸満市から2人が受賞

第54回沖縄県母子保健大会県知事表彰および大会長表彰を受賞した大城慶子さんと伊敷純子さんが2月8日(月)市役所を訪れ、糸満市長へ受賞の喜びを報告しました。大城さんと伊敷さんはそれぞれ長年に渡り地域母子保健の推進・向上に貢献したことが認められ、今回の受賞につながりました。

大城さんは「子どもたちとの関わりが好きでこの活動を続けていますが、多くの人の協力もありこの賞をいただくことができました」と、伊敷さんは「この賞を励みに来年、再来年も頑張っていきたい」とそれぞれ話しました。

